

私立大学図書館協会 2012 年度第 5 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2013 年 2 月 25 日（月）15：00～16：30

場 所：慶應義塾大学 湘南藤沢メディアセンター 地下 1 階 AV ホール

出席者：大平龍玄（愛知学院大学）、今村太朗（関西学院大学）、長島敏樹（委員長・慶應義塾大学）、

合田豊二（東京農業大学）、木村千鶴（広島修道大学）、鈴木直子（明治学院大学）

会長校：伊藤秀弥（立教大学）

事務局：鈴木有紀（慶應義塾大学）

配付資料

1. 2012 年度国際図書館協力基金支援企業一覧
2. 2012 年度国際図書館協力特別会計支出状況ならびに決算見込みについて
3. 2013 年度第 1 回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内）
4. 寄贈資料搬送申請書
5. 国際図書館協力委員会の経緯資料一式（会長校準備）

報告事項

1. 2012 年度国際図書館協力基金入金状況（資料 1）
依頼状況、入金状況を確認した。現時点で寄付金合計 105 万円（前年度 145 万円）。依頼中の 1 社について引き続き確認する。
2. モーテンソンセンターとの協定締結
協定書(2013 年 1 月より 2013 年 12 月まで)について前回委員会報告の内容で締結した。なお 2012 年末に当方サイン済の協定書を送付したが先方で紛失。2013 年 2 月に再度サインしたものを送付、先方のサインを受けたものが返送され事務局で保管。
3. 2012 年度各事業の進捗状況
 - ・海外認定研修
前回委員会で採択保留とした 2 件について、後日申請書・報告書の再提出を採択済。これで申請のあった 3 件全て採択となった。報告書は既に協会ホームページに掲載済。
 - ・海外集合研修
今回は英語圏以外への派遣であったことから一般の観光ガイド(兼通訳)を依頼し、参加者に対して英語力は問わなかったが、この点について参加者から意見・要望があった。次期委員会への引継事項とする。
4. 次期委員長予定者との引継
3 月 7 日(木)に現委員長館(慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンター)で実施の予定。

審議事項

1. 2012 年度特別会計決算（資料 2）
各事業活動費の執行は終えており、国際図書館協力基金の収入および会長校管理部分の微調整

を残すのみである旨の説明があり、承認された。

2. 2013 年度第 1 回寄贈資料搬送事業の実施（資料 3、4）

寄贈資料搬送事業実施要領に基づき、5 月末日を締切日として円滑に募集を進めるため、例年通り現委員会にて審議。募集要項および申請書(案)について承認された。2013 年 4 月に新会長校名および新委員長名にて加盟校へ送付するよう次期委員会へ引き継ぐ。

3. 今後の活動について

現委員任期中の残りの活動として、3 月 8 日(金)までに提出される予定の海外集合研修報告書の確認を行うことが承認された。

懇談事項

1. 海外認定研修の報告書のありかた

研修報告書の構成や完成度が申請者によって異なり、現委員会では審査の過程で一部修正を求めた事例もあったことから、報告書のありかたについて懇談した。多様な意見が出されたが、募集要項に「旅行等の機会を活かして」の文言があるように、他の 2 つの研修（海外派遣研修・海外集合研修）に比べて敷居が低く、より広く参加者を募るものであること、一方で 2010 年度の本研修スタート時には発表を前提としていた（東地区については 2011 年度第 3 回当委員会において報告を義務としないことを決定）ことなどから、当然一定の質の確保は必要であろう。募集要項の見直しや、報告書の形式をあらかじめ提示するなど何らかの対策をとるべきではないか。次期委員会への引継事項とする。

2. 当委員会のこれまでの経緯（資料 5）

会長校で当委員会の設立から各事業の変遷など、過去の経緯のわかる資料を揃えていただき、内容を確認しながら懇談した。2002 年に各事業の実施要項が制定されているが、実際には年数を経て様々な運用がなされてきており、現時点でこれらの有効性が不明確である。少なくとも現状に照らせば要領を改訂すべき点が散見される。2 年間の委員会活動を経た今、改めて経緯を整理してみると、委員会当初の理念に立ち返る機会がないまま、各事業の遂行に追われてきたという印象がある。大学図書館界の置かれた現状に合わせ、当委員会や各事業のありかたについて見直しが必要ではないかとの意見が出された。次期委員会への引継事項とする。

以上